

ネット消費の拡大享受

インテリアや家具などのネット通販「リコメン堂」を運営するジェネレーションパス（ジェネパ、3195・M）は月次業績好調で、戻り歩調が加速していきそうだ。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて経済活動が滞る中でも業績を拡大させている銘柄で、時価総額40億円程度と仕込み妙味の大きな軽量株だ。

今期営業利益は5倍に

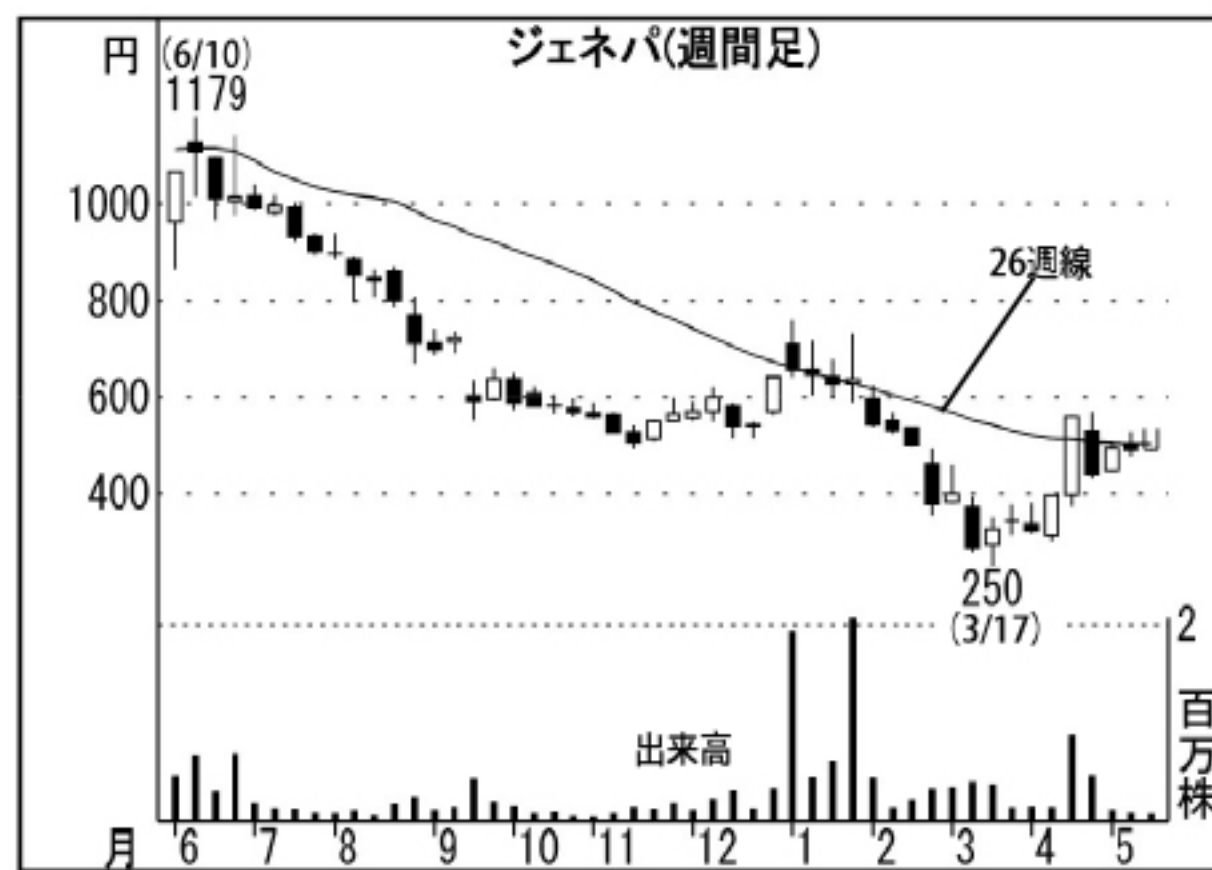
直近発表の3月の月次売上高は前年同月比30%増の10億3800万円となった。3月は比較的売上規模の大きな月ではあるが、需要の盛り上がる昨年末12月の10億5000万円を上回って今10月期で最大の売上高を記録した。

仕込み妙味大きな軽量株

新型コロナウイルスの影響で外出自粛が要請され、消費活動はインターネット上に移っている。ジェネパの展開する「リコメン堂」は、ブランド、メーカーなどから商品の提供を受け、さまざまなEコマース（電子商取引）モール上で商品ページの制作、出品を行うもの。独自のデータ分析手法に強

みを持っており、自社でEコマースサイトの立ち上げを検討している企業などが「リコメン堂」を用いてテストマーケティングを行うケースなどが多い。足を、過去に例のない緊急事態を受けて小売店などがEコマースへの取り組みを急ぐ中、大きな需要を取り込んでいる。

今期連結業績は売上高14億円（前期比17・9%増）、営業利益1億円（同5・0倍）を計画している。昨年7月からスタートしたファミリーマート（ファミマ、8028）向けのビジネスの通期寄与もあり、収益が改善す



る。当然ながら新型コロナウイルス環境下での販売好調は業績計画に織り込まれておらず、上ブレ要因になっていきそうだ。直近では、100%子会社で運営するインテリア、雑貨情報メディアの「イエコレクシオン」がページビューを伸ばしており、設立から2年3カ月を経て初めて月間100万ページビューを突破した。新型コロナウイルスに対応したコンテンツの作成などが効いている。

株価は3月安値250円から切り返し、ようやく26週移動平均線を上回る水準まで復

調してきた。中期的な調整トレンドをまだ脱していないものの、足元の業績好調と新興

市場の地合いの良好さもあり、このままトレンド転換に向かうシナリオが有力視される。本格的な戻り局面では値動きの軽さも武器となりそうだ。